

## 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	S-7S 黒		
ファイルNo.	303027J		
発行日	2012/07/23		
会社情報	会社:	三菱鉛筆株式会社	
	住所:	東京都品川区東大井5-23-37	
	連絡先:	品質保証部	
	電話番号:	03-3458-6964	FAX番号: 03-3458-3713

## 2. 危険有害性の要約

インクに関する情報を記載しております。

## 【GHS分類】

## 物理化学的危険性

分類基準に該当しない。

## 健康に対する危険性

急性毒性(経口)	: 区分5
急性毒性(経皮)	: 区分5
急性毒性(吸入:気体)	: 区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分外
急性毒性(吸入:粉塵ミスト)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分3
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分1
呼吸器感作性	: 区分外
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: 区分外

## 環境に対する危険性

水性環境有害性(急性)	: 区分外
水性環境有害性(慢性)	: 区分外

## 【GHSラベル要素】

絵表示



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込むと有害のおそれ
	: 皮膚に接触すると有害のおそれ
	: 軽度の皮膚刺激
	: 重篤な眼の損傷

## 注意書き

- 予防策 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 応急処置 : 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。  
 : 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
 : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して  
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医  
 師に診断/手当てを受けること。

## 3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別	: 混合物		
化学特性に関する情報	構成部品	: インク(製品中のインク充填量:約0.15g)	
化学名	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	濃度範囲(重量%)
フェニルグリコール	122-99-6	3-558	30-50
樹脂	非開示	既存化学物質	10-30
着色剤	非開示	既存化学物質	10-30
ベンジルアルコール	100-51-6	3-1011	< 10
添加剤	非開示	既存化学物質	< 10
シリカ(アモルファス)	非開示	既存化学物質	< 1

## 4. 応急処置

- 目に入った場合 : 直ちに大量の水で少なくとも15分以上洗浄する。  
 : コンタクトレンズを使用している場合は可能ならば外すこと。  
 : 洗浄後、直ちに医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚れた衣類等を脱がせ、付着部を石鹼と大量の水で15分以上洗浄する。  
 : 症状が気になる場合は医師の診察を受ける。  
 : 汚れた衣類等は再使用前に洗浄・乾燥する。
- 飲み込んだ場合 : 特に健康被害は予測されないが、口の中を水でよく洗浄する。  
 : 異常を感じた場合はコップ2~3杯の水または牛乳を飲み、様子を見る。  
 : 症状が気になる場合はこのMSDSを呈示して医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 低揮発性インクなので、通常の温度での健康被害は予測されない。  
 : 万が一、気分が悪くなった場合には新鮮な空気のところへ移し安静にする。  
 : 必要に応じて、医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末、二酸化炭素、水噴霧、泡。
- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は風上から行き、発生する蒸気を吸入しないこと。  
 : 適切な保護具の着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。  
 : 作業の際には適切な保護具を着用する。  
 : 風上で作業しない。
- 環境に対する注意事項 : 土砂等で流出を止め、安全な場所に導いた後、空容器に回収する。  
 : 河川への流出等、環境への影響を起こさないように注意する。

- 除去方法 : 紙、ウエス等の吸収性物質で拭い取る。  
: 回収物は国や地方自治体の規制に従い廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : インクを舐めたり、飲み込んだりしないこと。  
: 皮膚や眼との接触を避けること。  
: 使用後は、乳幼児の手の届かないところに保管すること。  
: 製品を振らないこと。
- 保管 : 酸化剤、全ての引火源及び発火源、高温、直射日光を避けること。  
: 出荷時に充填する容器を使用すること。  
: 推奨温度 : 0-40℃

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度／許容濃度

化学名	管理濃度 (労安法)	許容濃度 (ACGIH)	許容濃度 (JAIH)
着色剤(三価クロム化合物)	-	(TWA)1mg/m <sup>3</sup>	-

設備対策 : 特に必要とされない。

### 保護具

呼吸器の保護具	: 特に必要とされない。
手の保護具	: 特に必要とされない。
目の保護具	: 特に必要とされない。
皮膚及び身体の保護具	: 特に必要とされない。

## 9. 物理的及び化学的性質

[ ]内に記載している情報は、含有成分の情報である。

外観等・色	: 黒色
外観等・状態	: 液体
臭い	: 情報なし。
pH	: 情報なし。
沸点	: 情報なし。[ベンジルアルコール 205.3℃]
融点	: 情報なし。
引火点	: 情報なし。[ベンジルアルコール 93℃]
発火点	: 情報なし。[ベンジルアルコール 436℃]
爆発範囲(下限～上限)	: 情報なし。
蒸気密度(空気=1)	: 情報なし。
比重	: 情報なし。
水への溶解度	: 情報なし。
蒸発速度	: 情報なし。
揮発成分重量	: 45～48%

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の温度、圧力の条件化では安定である。
避けるべき条件	: 熱、裸火、火花、引火源及び他の発火源を避ける。 : 直射日光や高温を避ける。
漏触危険物質	: 情報なし。
有害な分解生成物	: 情報なし。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	
区分5	: 2000 < LD50 ≤ 5000 mg/kg (推定値)
急性毒性(経皮)	
区分5	: 2000 < LD50 ≤ 5000 mg/kg (推定値)
急性毒性(吸入:ガス)	
区分外	: >50000 ppm (推定値)
急性毒性(吸入:蒸気)	
区分外	: >50 mg/L (推定値)
急性毒性(吸入:粉塵ミスト)	
区分外	: >12.5 mg/L (推定値)
皮膚腐食性/刺激性	
フェニルグリコール	: 区分3
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	
着色剤(三価クロム化合物)	: 区分2B
フェニルグリコール	: 区分1
呼吸器感作性	
情報なし。	
皮膚感作性	
情報なし。	
生殖細胞変異原性	
情報なし。	
発がん性	
情報なし。	
生殖毒性	
情報なし。	
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	
情報なし。	
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	
情報なし。	

吸引性呼吸器有害性  
情報なし。

水性環境有害性(急性)  
情報なし。

水性環境有害性(慢性)  
情報なし。

## 12. 環境影響情報

情報なし。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄では国及び地方自治体等の規制を遵守すること。  
廃液は排水溝等に流出させないこと。

## 14. 輸送上の注意

国内法規制 : 特段の規制はない。  
HSコード : 960860  
輸送上特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

## 15. 適用法令

インクに関する情報を記載しております。

PRTR法 : 該当しない

労働安全衛生法 : 通知対象物質 シリカ(アモルファス)  
: 着色剤(三価クロム化合物)

毒劇法 : 該当しない

消防法 : 第四類 引火性液体 第三石油類 非水溶性 相当

## 16. その他の情報

- ・ ISO規格 ISO 8124-3 “Safety of Toys - Part 3” 適合
- ・ 記載内容は現時点で入手できる資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改正されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
- ・ 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。